

JAPAN

MONGOLIA



自社の将来を担う中核人材と 出会いませんか！

HITSでは、日立地区中小企業の外国中核人材確保に向け、令和4年度及び令和5年度は、モンゴルミッション団派遣及びひたちスタディーツアーを開催し、モンゴル国の日本式高専や日本留学生の会（JUGAMO）等との関係性を構築してきました。

令和6年度においては、これまで築いてきた関係性を下に、モンゴル国において日立地区やモノづくり技術への理解を深めるため、日立地区企業による現地での講座開催や、モンゴル人学生等を対象としたインターンシップを実施することで、外国中核人材獲得に向けた支援を行います。

モンゴル寄付講座とインターンシップについて

講座開設（渡航）時期	令和6年6月16日～22日
インターンシップ実施時期（国内）	令和6年8月中旬～9月末
開催場所	モンゴル 日本人材開発センター 研修室
協力校	新モンゴル高専、科学技術大学附属高専 モンゴル工科高専
募集企業数	4社（4名）
渡航等に係る費用	1社当たり500,000円（概算）

参加申し込みについて

お申込み期間	令和6年4月1日（月）～4月11日（木）
審査期間	令和6年4月12日（金）～4月18日（木）
採択決定	令和6年4月19日（金）
採択企業オリエンテーション	令和6年4月25日（木）

開催講座予定は裏に！

開設予定講座

講座名	概要
応用人間工学	製品を人間工学に基づき改良を加えることで、使いやすさ・簡易さ・安全性の向上・デザイン性など付加価値を向上させることを学ぶ。
精密機械（金属）加工の応用	金属を使用した機械部品や製品を高い精度で加工するための技術や知識を学ぶ。理論と実践を組み合わせ、参加者はインターン時に実際の製造環境で実践する。
信頼性設計と国際規格	社会のインフラの構成品や機器に関する信頼性設計と国際規格を学び、生産システムの信頼性を確保するための包括的なアプローチについて理解する。
機械力学と材料力学の応用	材料の強度、剛性、弾性限界などの特性に関する理解を深める。また材料の特性を考慮しながら加工や製造プロセスを設計する方法について学ぶ。
機械設計と機械加工の応用	信頼性及び耐久性の製品の設計と機械加工をおとした製造プロセスを理解し、社会的な課題に対する工学的な考え方に基づくアプローチ方法について学ぶ。
応用制御工学	社会インフラ設備の遠隔監視制御、製造業向け生産設備の電気制御、生産計画・生産実績の管理、マイコン組み込み制御等活用事例より産業向けIoTの概要と活用事例を学ぶ。
応用制御工学の社会実装	制御システムについて、事例を引き合いとした社会実装プロセスを学び、社会課題への適用を検討する。
応用制御工学の実践演習	製品の駆動と制御の核となる制御システム設計の理解を深め、シュミレーションや実機テスト等により、制御倫理による応用的課題の解決を目指す。

※この事業は、一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)の実施する技術協力活用型・新興国市場開拓事業(研修・専門家派遣・寄付講座開設事業)の補助金を見込んで計画しておりますので、場合によっては計画が変更となる可能性もございますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

お申し込み方法

下記URLより申請書をダウンロードし、上記講座の内2つ以上について講座の提案を記載いただき、下記お問い合わせ先にメール又は郵送（4/11必着）にて申請をお願いします。



○お申し込み書ダウンロードはコチラ

<https://www.hits.or.jp/wpcontent/uploads/2024/04/20240401entry.docx>

問合せ

公益財団法人 日立地区産業支援センター
〒316-0032 茨城県日立市西成沢町2-20-1
TEL 0294-25-6121

担当

砂押 sunaoshi@hits.or.jp
日比野 hibino@hits.or.jp
荻谷 ogiya@hits.or.jp